

Ⅱ 委託研究課題概要

【2024年度採択 連携研究スキームによる研究】

課題番号（e-Rad課題ID）：24036924

アフリカにおける食料安全保障に関する研究—グローバル・サウスとの関わりにも着目して—

政策研連携研究課題：西アフリカ（西部）、南アフリカにおける食料安全保障に関する研究

委託研究課題名：「北・東・西アフリカにおける食料安全保障構造の変化に関する研究」

1 研究実施期間（西暦）：2024年度～2026年度（3年間）

2 予算規模：9,750,000円（2026年度）

3 代表機関・役職・研究開発責任者
京都大学・研究員（名誉教授）・末原 達郎

4 研究の目的・達成目標

アフリカの食料安全保障は、構造的に変容している。また安全保障構造のスケールが、国家、コミュニティ、家族等へと重層化している。食料貿易も対ヨーロッパだけでなく、グローバル・サウスにも拡大している。食料安全保障の変動とその構造変化を明らかにし、地域ごとの比較も行う。

5 研究の内容および実施体制

① アフリカにおける食料安全保障構造の変化に関する研究

スケールの多層化に伴い食料安全保障概念も変化した。新しい分析スケールを持った食料安全保障構造を示し、現実のアフリカ諸国で比較研究を行う。

（京都大学）

② 西アフリカ（東部）における食料安全保障の変化の分析

西アフリカ（東部）における食料安全保障の変化について食料生産と食料貿易の視点から分析を行う。特にグローバル・サウスとの関係を視野に入れて分析する。

（龍谷大学）

6 政策研究との連携の意義、期待される波及効果

政策研究は、西アフリカ（西部）と南アフリカを対象地域としており、北アフリカ・東アフリカ・西アフリカ（東部）を対象とする本研究と連携しアフリカ全体の変化を分析できる。グローバル・サウスの専門家とアフリカ研究の専門家とが連携することが可能となる。

＜研究概要図＞

委託研究課題名	北・東・西アフリカにおける食料安全保障構造の変化に関する研究
----------------	--------------------------------

委託研究課題名：北・東・西アフリカにおける食料安全保障構造の変化に関する研究

研究の背景：世界の食料安全保障の概念は、国を単位とした食料安全保障から地方、民族、コミュニティ、家族を単位とする多重化した食料安全保障へと変化してきている。しかしわが国の食料安全保障の研究では、国を単位とする経済学的分析が中心であり、文化人類学、農村社会学を基盤とした食料安全保障構造を分析する必要に迫られている。

研究目的・達成目標：本研究では、①アフリカにおける食料安全保障の単位を構造化し、その変動を明らかにする。②アフリカの対ヨーロッパから対グローバル・サウスへと食料貿易の構造が変わっていることを明らかにする。

